令和８年８月７日

魚沼市議会議長　志 田　　貢　様

総務委員会
委員長　大桃　俊彦

総務委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第 110 条の規定により報告します。

記

１　調査事件名　（１）行政視察の総括について

２　調査の経過　　８月７日に委員会を開催し、７月 22 日から 24 日までの行政視察の総括を行った。

総務委員会会議録

１　調査事件

（１）行政視察の総括について

２　日　　時　　令和８年８月７日　午前10時

３　場　　所　　本庁舎３階　委員会室

４　出席委員　　こめたろう、横山正樹、星野みゆき、大桃俊彦、高野甲子雄、森島守人
（志田　貢議長）

５　欠席委員　　なし

６　説 明 員　　なし

７　書　　記　　椛澤議会事務局次長、田口主任

８　経　　過

開　　会（10：00）

大桃委員長　　皆さんおはようございます。定足数に達しておりますので、ただいまから総務委員会を開会したいと思います。それでは、これより本日の会議を開きます。

（１）行政視察の総括について

大桃委員長　　本日は、行政視察の総括についてということでお願いしたいと思います。先月の22日から24日までの３日間、行政視察は皆さん大変お疲れ様でした。皆さんから報告をいただいた内容につきましては、まとめてそれぞれスマートディスカッションに入っておりますので、今日はその内容に沿って報告をしていただきたいと思っております。簡潔によろしくお願いしたいと思いますし、先々のところを１点ではなくてまとめてお願いしたいと思います。

それでは、皆さんの意見をよろしくお願いしたいと思います。初めに、こめたろう委員から感想をよろしくお願いします。

こめたろう委員　　では、それぞれのところではなくまとめて簡潔にということで、手短に総括させていただきたいと思います。行政視察では、農業、まちづくり、学校統合、議会改革といった４つのテーマで視察を行ってきたわけであります。それぞれ内容は自治体ごとにもちろん異なりますけれども、共通して感じたというところは、地域の実情を丁寧に把握して、市民との対話を重ねながら、一歩ずつ着実に進めていく姿勢が重要であるという

ところを感じました。魚沼市においても、地域や消費者に何を求められているのかということを把握した上で施策を進めることも重要だと感じましたし、多世代、多文化が共生できるコミュニティーづくりの重要性でしたりとか、実情、住民の声に十分配慮しながら進めていくことの大切さというところを実感いたしました。また、議会改革についてですけれども、理想と現実の両面があるということも感じましたけれども、よりよい議会運営に向けて議論を重ねる姿勢というのは非常に参考になるものでありました。こういった得た知見を、本市の現状や課題に照らし合わせながら、今後の政策提案や委員会活動、市政運営に生かしていければと考えております。以上といたします。

大桃委員長　　それぞれのところで、お願いできればなと思っていたんですけど。まとめてではなくて。

こめたろう委員　　一つ一つ言っていいということですか。大変失礼しました。私が誤解して解釈しておりました。一つ一つということでお話させてもらいたいと思います。今申し上げたところにかぶるところもあるかと思いますが、もう一度お聞きいただけますと幸いです。

まず最初の喜多方市ですと、有機農業を一気に進めるのではなくて、特別栽培を段階的に推進していき、収穫だけでなくて付加価値を高めるという考え方が印象的でありました。魚沼市においても、地域や消費者に何が求められているかというところを把握した上で進めていくことが重要だと感じました。

続いて、那須町ですと、高齢者が安心して暮らせる住まい、また医療、商業を集約したまちづくりが進められておりまして、多世代、多文化が共生できるコミュニティーづくりの重要性というところを改めて認識いたしました。

３つ目の鹿沼市ですと、学校統合することに当たって何度も説明会や意見交換を重ねたというところが非常に印象的でして、まさに石橋をたたいて政策を進めてきたと表現されていましたけれども、子どもたちの心理的負担の軽減でしたりとか、あと事前に交流するなど、非常に丁寧な対応が行われていたのではないかと感じました。魚沼市でも地域の実情や住民の声に十分配慮しながら進めていくことの大切さを再認識いたしました。

最後になりますけれども、豊島区ですとオンライン委員会でしたりとか、本会議でのマイボトル持ち込みなど、従来の固定概念にとらわれない議会改革が進められているなと感じました。ペーパーレスに関しては、逆に魚沼市はもう先に進んでいるような印象を受ける部分もありました。一方でですけれども、そういった議会改革の進め方では全会一致を取られているということで、その議員間の合意形成については理想と現実の両面があるのではないかとは感じましたけれども、よりよい議会運営に向けて議論を重ねる姿勢は参考になるものだと感じております。

結びになりますけれども、今回の視察を通じて得た知見を魚沼市の現状や課題に照らし合わせながら、今後の政策提案、委員会活動、市政運営にしっかりと生かしていきたいと考えております。

星野委員　　喜多方市は、こめたろう委員とほとんど一緒の内容になると思いますけれども、けして慣行が悪くて無農薬が正解といった考えを強制しているわけではないということで、環境に優しい農業といってもその形は一つではないという、そこのところをすごく喜多方の方も一生懸命推して話されていたのではないかなと感じました。いろんなことを含めま

すと、何が求められているのかを把握することがすごく重要であり、具体的に何がやりたいのかということで、喜多方市が行っていて成功しているから魚沼市でもというよりは、地域の特性や経営の状況によってやり方は選ばれているので、現場の声をよく聞いて本当に何が必要なのかによって違うんだろうなと感じたところです。

那須のまちづくりについては、小学校の跡地を利用しての試みはすごく有意義であったと思いますし、民間の力でそれを推進していくということは大変参考になりました。小中学校の統廃合で今後魚沼市では多くの空き施設が出てくるわけで、利活用の一つにこういったものもいいのかなとは思いましたけれども、いろんな意見を聞いて検証が必要であるということと、雪があるところと雪がないところの建物の違いとか考え方の違いは大分異なっているなと感じたところです。

鹿沼市では、再編の目的、メリット・デメリットを聞いていても魚沼市と変わらないなという感じを受けました。やはり吸収されるほうの学校からいろんな反対意見が強く出ているのは、魚沼市の説明会の保護者の声を聞いていても一緒だなと考えました。それに対しての対応も、丁寧な説明、共通理解等も一緒だなと感じました。ただ、先ほどこめたろう委員も言いましたけれども、鹿沼市では計画策定前から再編対象地区の皆様に対し、意見交換会や計画説明会をきめ細やかに丁寧にしておりましたということで、魚沼市はここの部分、意見交換会、説明会のスタートがちょっと遅かったなと感じました。鹿沼市では特別大きな反対意見がなかったということは、やはり早い段階で動いたことがよかったのではということで、今後の地区検討会等でより一層丁寧な説明、意見交換会が必要になってくるのであろうと思われます。中学校では、統合に先行して新中学校１年生を統合校に入学させる方針、統合してからの制服のことや様々なことを考えると、魚沼市でも活用できるのではと思いました。閉校後の学校の利活用を閉校の２年前から並行して考え、１年前には民間業者も決めて旧校舎を活用しない期間をつくらない、ここの部分も魚沼市ではぜひとも採用をしていただきたいと思いました。

豊島区の議会改革について、ペーパーレス化、議会報告会など、全体的に魚沼市のほうが進んでいる内容も多いと感じました。議員の人数が多いので、改革を進めるには全会一致が難しいので、実際はなかなかいろんなことが前に進めていないんだろうなと感じました。魚沼市でもインターネット議会中継の配信やライブ配信の取組はどうかと提案がありましたけれども、現在のユーチューブの視聴数を考えると私個人としては必要性はあまり感じられなかったところであります。

全体を通して、この地域で成功したからうちの地域でもぜひというわけではなく、地域一つ一つやり方も違いますし、実情も違いますので、魚沼市でもまねできるところはぜひまねをして、よりよい魚沼市になっていくことが大切であると感じました。以上です。

高野委員　　喜多方市の関係でありますけれども、有機農業への取組は行政側や生産者側からのどちらからも、なかなか難しいということが改めて分かった感じがしました。特に、販路の確保や栽培の手間など生産者の苦労と消費者の価格、品質などの要求や意識の差、この辺がなかなか難しいのではないかなというのは改めて感じたところであります。担当の職員も、その辺がかなりもどかしいのではないかと感じたところであります。旧熱塩加納村での減反政策への対応、これがなかなか進まないというのも、食への消費者との感覚の違い、これがなかなか難しいのではないかなと感じました。

栃木県の那須まちづくりの関係でありますけれども、町の人たち金持ちの人たちのためのまちづくりという感じを受けたところであります。高齢化が進んでいる中での移住希望者は多いと思うので、運営の関係についてはうまくいっているのではないかなと感じたところであります。

栃木県の小中学校の学校統合の関係でありますけれども、10年間の計画で進めるということで、非常に学校再編の必要性についての説明会など多くの保護者や地域住民等の合意形成に十分に取り組まれていると感じているところであります。あと、小規模校の規模の小ささと数の多さ、これについては改めて都市部というか、雪がないところの難しさというのも感じたところであります。魚沼市との違いもありますけれども、魚沼市の関係についても雪と川の多さというか、深さというかを改めて感じて、我が市の学校の統合の難しさはあるのだなと感じたところであります。

豊島区の議会改革の関係についてでありますけれども、議会改革検討会で29項目について正副幹事長会のメニューで協議をすることになっていますが、全会一致が原則となっているためにこの29項目を整理するのはなかなか難しいのではないかなという面もありますけれども、議会と議員との責任もあるのでこの辺はいろんな議論をされているであろうからいい面もあるのではないかなと感じたところです。その辺の感じもありますけれども、自治体議員としての二元代表制を自覚できるためにも29項目を議論されているのはいいことではないかなという感じは受けたところであります。以上であります。

森島委員　　環境に優しい農業の推進についてでありますけれども、私は２、３年前に小山市の農業の有機農業の取組についても研修したんですけれども、やはりお互いの温度差を感じたところであります。やはりＪＡとの協力関係をどう進めるか、やはり生産者にとってお金になる農業をしていかなければならないと感じたところであります。また、魚沼市においても高温被害がありますので、品種の改良、あるいは農業政策、補助金等々に結びつければと思ったところであります。職員については本当に丁寧な答弁をしていただき、熱い思いを感じた研修でありました。

那須のまちづくりにつきましては、これはやはり95％以上の入居率があり、全国各地から入っているというようなことで、一つの小さな村、集落と捉えてまいりましたので、今後また福祉の面も含めて何か魚沼市に利用できるものは取り入れればと思ったところであります。

次に、鹿沼の小中学校の学校統合についてであります。これは、私たち魚沼市と違うのは、全市にやはりアンケートを取ったというところ。これが今、新潟県でも全市にアンケートを実施したところはひょっとしたら加茂市があるのではないのかなと思ったところであります。複式学級にならないように、やはり子どもたちのために学校がどうあるべきかということを、しっかりと我々魚沼市の統合についても考えていかなければならないと思いますし、最終的にはやはり子どもたちのため、そしてまた地域の皆さん方に丁寧な説明をしていただくことを申し上げて復命といたしたいと思っております。

豊島区の議会改革についてであります。これは、私は一言で言えば、魚沼市議会はある意味、豊島区より議会改革は進んでいると感じてきたところであります。ただ、豊島区は非常に議員の政党数が多いというようなことでなかなか決められない､政治といいますか、議会改革なのかなと思いました。私は、やはり最終的には多数決で決することも必要なの

かなと感じたところであります。

全体の総括としまして、非常に時間をオーバーするほど各委員、行政職員ともに熱心に質疑をし、研修の見聞を広めたところであります。これが１年あるいは３年後に生かされるよう、今後の魚沼市発展の一助になるように努力をしてまいりたいと思っております。

あとは、説明員でありますけれども、説明会で聞き取れない点がありました。これは説明員が少し声が小さいというか、マイクを我々が取れないのか、私の耳がちょっと遠いのか分かりませんけれども、やはりうちのほうも担当職員は分かりやすく、やはり大きな声で研修に来た自治体の議員にはそのようにしていただければと思います。そしてまた鹿沼については、質問書に対して非常に丁寧に全部回答用紙までいただいたところでありますので､この辺魚沼市もそのようにしているのかというのもそこに書かせていただきました。そういうことがなければ今後ぜひ議会事務局として各課にそのようなことをしていただければ、またさらに議会改革も含めて魚沼市がよくなるのではないのかなと感じたところであります。

そして最後に、鹿沼市議会の議長さん、議会事務局の皆さん方の対応が非常に私たちにとってうれしかったなと思って研修をしてまいりました。以上であります。

大桃委員長　　では私からなんですけれども、喜多方市の環境に優しい農業推進についてで、基本理念の「生命を守り、未来を育む環境にやさしい喜多方市の農業」というところで、田んぼの生き物の調査をしたりとか、あるいは土づくりの推進などが重要であるとして力を入れているというところと、生産者から見れば心配事としては販売先の確保、栽培技術の普及や指導者の充実、消費者・実需者の理解促進、労働者の確保などが推進に必要と考えている。これらについては課題はいろいろあるようですけれども、説明の中では今のところは順調と捉えているようであります。また、課題として、環境に優しい農業推進協議会の構成団体に生産者がほぼ加わっていないというところがちょっと気になりましたし、今後取り組んでいく必要があるともおっしゃっておりました。そして、有機農産物の消費者の理解の醸成が必要であるということなどを、懸命に、諦めずに、実直に取り組んでいる姿に私は感動したところであります。

次に、那須町でありますが、那須のまちづくり広場の日常的な運営に対する国からの経営の補助金や運営費の穴埋めというのはありませんけれども、基本的には民間の那須まちづくり株式会社が自主財源と事業収支での自立経営で賄っているというところに、またいろいろ考えさせられるところがありました。その課題としては、専門スタッフの不足やメンバーの高齢化と後継者の育成、若い世代の移住定着、人間関係の構築など、多様性の受入れが必要というようなことをおっしゃっておりました。そして、多岐にわたる事業の収支のバランスとして、福祉以外の事業のほか、収益化や幅の広い敷地や施設の維持管理のコストなどが今後言われると感じてきたところであります。

次に、鹿沼市の小中学校の再編の件でありますが、学校再編の進め方についてというところで非常に私も興味を持って伺ってきました。魚沼市も説明会を各学校でもって進めておりますけれども、そういう関係で興味を持って伺いましたが、最終的には保護者や地域の皆さんとの、皆さんも先ほどから話しておりますけれども、十分な話合いがなされているというところに魚沼市との違いが表れているのではないかなとまず感じ取られました。鹿沼市は、計画の説明の段階で十分な説明をする、それから意見交換をする場を設けてと、

ここに時間をかけているというのがよく感じ取れました。そして、必要に応じて地域での検討会を設置しながら、最終的には合意に結びつくというようなイメージの図がありました。まさにそれを関係者の人たちと懸命な意見交換をされ、説明をしてきている経過の中で、最終的には子どもたちのためにということで保護者の人たちも納得しているというお話も聞かれました。この辺のところは魚沼市とすると、先ほど星野委員も話をされましたけれども、十分な説明というところでちょっと欠けているようなところもありますので、やはり十分な説明があってそれに対して意見交換を進めていく、相手が納得するまで進めていくということの大切さというものを感じてきたところであります。課題としては、学校がなくなることから子育て世代が地域を離れて人口減少や過疎化に拍車がかかるという、地域社会の行事や防災の拠点から役割が失われるところが懸念されると感じてきました。

そして、皆さん大変申し訳なかったですけれども、豊島区については私も希望先として名をあげ、実際に話をお聞きしたかったというのが本音であります。また、自分も準備していく中で、豊島区の池袋の復活をなされたという高野区長さん、６期24年にわたって立ち上げてきたという、その辺のところも話の筋の中で一言お話をしたかったところでありましたけれども、それができなかったのは非常に残念だったなというような感想を持っております。

以上、簡単にまとめますと、物事をやるにはやっぱり実直に市民との対話が必要というところを今回の視察で強く感じてきたところであります。私のほうは以上であります。

横山委員のほうで､今ほど聞いた中で何か感想がありましたらお願いしたいと思います。

横山委員　　それぞれ４つのテーマというんでしょうか、課題の中で皆さんそれぞれ研修されてきたことが分かり、大変よかったと思います。特に、やはりどこの市町村であっても、大きな課題は人口減少により地域がどんなふうになっていくかというところであります。その中での学校統合の問題であったり、農業の問題であったりということになるかと思うんですが、私が常に日頃考えているのは市の構成をしている一番のもとは、各集落がしっかりと維持管理できるように、そのつながりの中でみんながまとまれるようなコミュニティーづくりが必要だろうと考えていますので、皆さんの発表等々今後の活動にまた生かしていきたいなと思っています。大変ありがとうございました。

大桃委員長　　ありがとうございました。最後に、議長から一言いただいて、また感想もいただければありがたいと思います、

志田議長　　３日間の視察、大変お疲れ様でした。事故もなく無事17名の議員で３日間何事もなく過ごせたのも、事務局さんの細かい配慮ではなかったのかなと思います。この場を借りて、椛澤次長、それから閏間係長、田口主任にお礼を申し上げたいと思います。

それから、視察初日のバスの中で、皆さんからは緊張感を持って視察に臨んでもらいたいというようなことを私から提案させていただきました。そういった意味でも、皆さん緊張感を持って真摯に視察に取り組んでくれたことに対しましても感謝を申し上げたいと思います。

それから、先ほど森島委員からありましたように、視察先での対応が素晴らしかったなと思うことは、やはり魚沼市議会事務局でもやっていかなければならないと思っております。今回、たまたま３つの視察を魚沼市のほうで受入れをしまして、その席の場でも私も説明員の方には分かりやすく丁寧に、ゆっくりと大きな声で説明してくださいと申し上げ

たとおりでありますので、そういった部分でしっかり視察で来た方にも身になって、また我々が説明したことに対しても満足感が得られるような、お互いに得るものがあるような視察が行えればいいのかなと思っておりますので、今後もそれについては期待していきたいと思います。とにかく３日間大変お疲れ様でした。

懇親会の中でも、一層の魚沼市議会の団結ができたのではないかなと思っておりますので、今後また暑い夏が続きますが体調管理を十分されて議会活動に臨んでいただきたいと思っております。大変ありがとうございました。

大桃委員長　　全ての委員の皆さんから感想をいただきました。視察の総括については以上とさせていただきたいと思いますが、今回の視察の中で思いついた点とか、こうしたらいいかなというところがありましたら自由に発言していただければなと思いますが、ありましたらお願いします。（なし）それでは、今の皆さんからいただいた意見を取りまとめさせていただきまして、総括にさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いしたいと思います。

委員の皆さんからほかに御意見、御協議等はありませんでしょうか。

森島委員　　いいですか委員長、休憩中でひとつ聞かせてもらいたい。

大桃委員長　　しばらくの間、休憩とします。

休　　憩（10：32）

（休憩中、委員より発言）

再　　開（10：36）

大桃委員長　　休憩を解き、再開をいたします。

皆さんから報告をいただきました。これで本日の会議は終了とさせていただきます。大変どうもお疲れ様でした、ありがとうございました。本日の会議録の作成につきましては、委員長に一任をお願いしたいと思います。本日の総務委員会はこれにて閉会といたします。

閉　　会（10：37）

総務委員会

委員長　大桃　俊彦